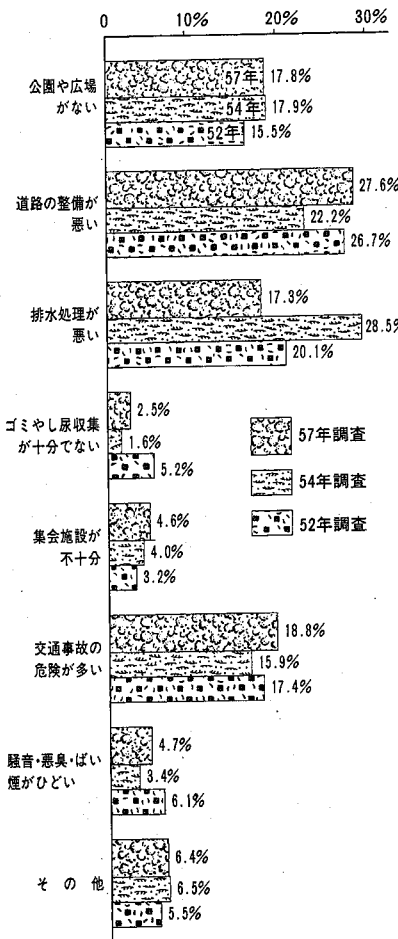


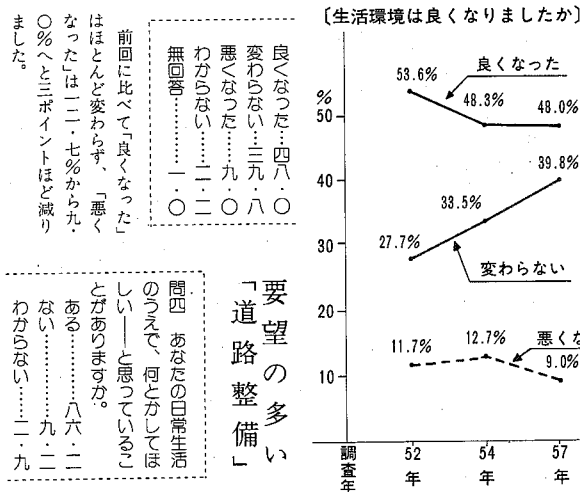
「何とかしてほしい」ことは?



問一 新津市の市民性について、その特徴を最もよくあらわしていると思われるものを、次のうちから二つ選んでください。
生活力がある……一八・〇
勤勉・誠実である……一九・一
がまん強い……四・三
何事にも無関心である……二・〇
権利意識が強い……三・二
開放的でない……二・〇
引込みの思案がある……二・七
思いやりがある……三・七

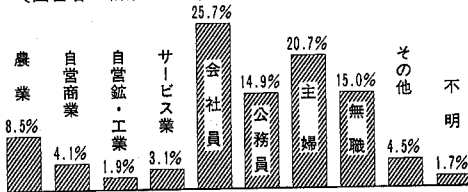
問二 二つで、おまの付近の生活環境は、四・五年間と比べてどのようになっているか。
進歩的である……九・六
保守的である……一九・九

市民性は「保守的」が一位に

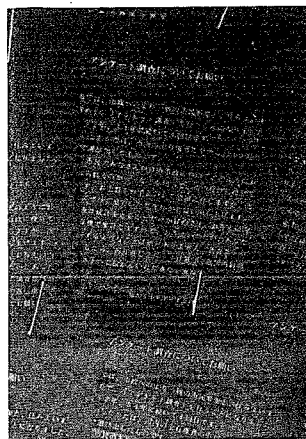


問四「ある」と答えた方は前回とはほぼ同じ割合になりましたが、その補助質問の回答の内訳は前回と大分異なりました。
前回は、①「排水処理が悪い」(二八・五%)、②「道路の整備が悪い」(二二・二%)、③「公園や広場がない」(二七・九%)となっていました。ところが、今回の調査では「排水処理が悪い」は一七・三%と大きく減り、「道路の整備が悪い」がトップになりました。

【回答者の職業別内訳】



数別の内訳を見ますと、一番多いのは、やはり新津市に二十一年以上住んでいる人で七三・六%。次いで十一・一二十年の二二・四%、六十十年の九・〇%と続いています。



多くの方からご協力いただきました

回収率は68.6%と最高を記録

さきごろ実施した「アンケート調査」の結果がこのほどまとまりました。この調査は、市内の全有権者の中から1,000人(男女500人ずつ)の人たちを無作為に選び出し、質問票を郵送して無記名で回答を求めたものです。調査期間は2月1日～2月10日でした。

市民の皆さんの「ナマの声」を求めるこの調査も、昭和50年、52年、54年に続いて4回目です。2年に1回ずつ行うことによって、市の仕事などの程度効果をあげているのか、また市民の皆さんの要求がどのように変わってきているのかなどを知ることができ、まちづくりに欠かすことのできない貴重なデータを提供しています。

今回の調査では、皆様のご協力のおかげで回収率も68.6%とこれまでの最高を記録することができました。市ではこの調査結果を、今後の仕事に十分生かしていくことにしています。調査にご協力いただいた回答者の皆さん、本当にありがとうございました。

今号ではこの結果の概要を、前回、前々回のデータもまじえながら紹介しています。(回答の%は小数点2位以下を四捨五入してあるため合計が100%でないところもあります。また回答を二つ選ぶ設問では一つしか回答しなかった方がいるため合計が200%になっていません)

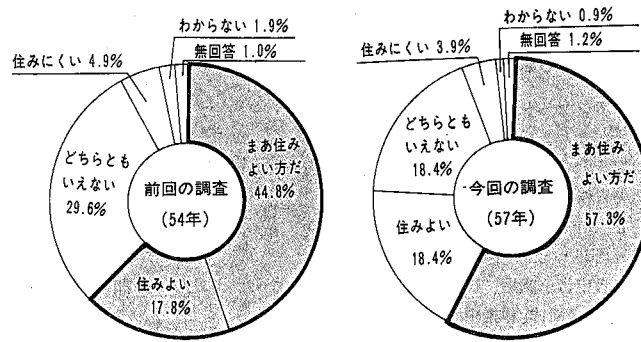
四人に三人は「住みよい」

問一 新津市の住みよさはどうかですか。
住みよい……一八・四
まあ住みよい方だ……五七・三
どうもいえない……一八・四
住みにくい……三・九

問二 「住みよい」と「まあ住みよい方だ」を合算すると七五・七%になり、前回(五十四年)の六二・六%、前々回(五十二年)の五二・五%を大きく上回りました。

この「住みよさ」の評価を男女別に見ると、男性が七二・五%、女性が七八・九%と、女性の方が「住みよい」と答えた人が多くなっています。また、年代が高くなるほど「住みよい」の評価が高くなっており、二十歳代では「住みよい」、「まあ住みよい方だ」を合わせて六七・〇%に対し、六十歳以上では八三・八%にも達しています。

【住みごころはいかがですか】



回答者の内訳

▼性別				
男性 335人 (48.8%)		女性 341人 (49.7%)		
▼年代別				
性別不明 10人				
20代 14.1%	30代 21.0%	40代 19.8%	50代 23.8%	60歳以上 19.8%
年代別不明 1.5%				

調査結果の前にも、回答を寄せられた方たちの構成についてちょっとふれてみましょう。
回答者六百八十六人のうち、男性は三百三十五人、女性は三百四十一人、性別不明の八十人という内訳になりました。また年代別では、二十代九十七人、三十代百四十四人、四十代百三十六人、五十代百六十三人、六十歳以上百三十八人です。回答者の職業別内訳は左